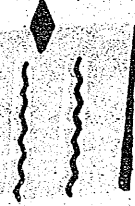


初等科裁縫

上

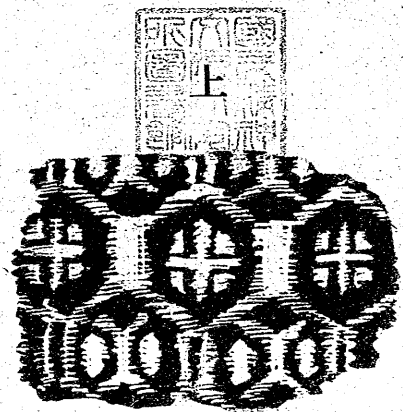


文部省

見本



縫裁科等初



省 部 文

文
部
方
20

もくろく

一 よい身なり……………一
 二 食食用ひざかけ……………三
 三 机ふき……………八
 四 糸くづ入れ……………十
 五 お手玉針さし……………十二
 六 せんたく……………十四
 七 手さげ袋……………十六
 八 前かけ……………二十
 九 着物のしまつ……………二十七
 十 袋枕おほひなど……………二十八
 十一 下げき……………三十一
 十二 針くやう……………三十五
 十三 べんたう包み……………三十六
 運しんきろく……………三十八

一 よい身なり

おとうさんおかあさんのお心のこもつた着物が着られる私たちはほんたうにしあはせて。



このお心のこもつたよい着物も、だらしなく着てゐては、よい身なりとはいへません。きちんと着なければなりません。着物をきちんと着るためには、いつも手入れをおこたつてはいけません。さあ、日本の子どもとしては、うかしくないよい身なりについて、いろいろな事をおけいこしませう。

カラー資料

一 よい身なり
身なりのいろいろ



寒いときにはどんな着物を着ますが。
暖いときにはどんな着物を着ますが。
仕事をするときはどんな着物でしませんが。
ねるときはどんな着物に着がへますが。

二 食事用ひざかけ

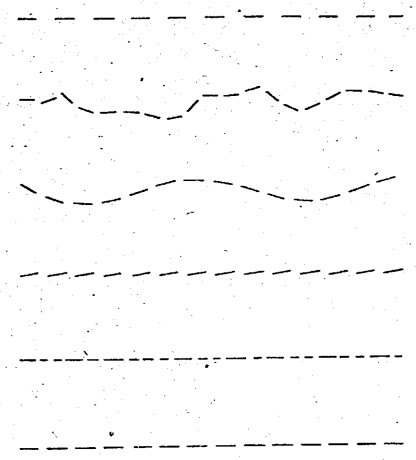


三 食事用ひざかけ

三

上手なぬひ目

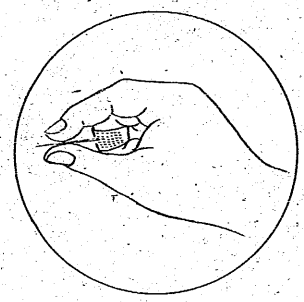
イぬひ目がまつすぐでゆがんでゐない。
ロ針目がよくそろつて、大小がない。
ハ糸こきが十分できてゐる。



上手なぬひ目は、見ただけでも氣持のよいものです。上手なぬひ目でできてゐる着物は、丈夫で、着てゐても形がくづれませぬ。

上手なぬひ目は、落ちついたていねいな、こんき強い心から生まれます。せつかちであきつばい心からは、決して出て來ませぬ。

針の正しい持ち方



イ針を指ぬきに正しくあててゐる。
ロおや指をよくのばす。
ハ針先は指先から三ミリメートルぐらゐ出てゐる。

針の正しい運び方

イ 上半身をまつすぐにし、肩の力を抜き、
下腹に力を入れる。

ロ 両ひぢをしげんに張り、腕を動かして、
針を運ぶ。

ハ 針の先に心をこめて針を運ぶ。



だうぐは、つかふのにべんりなやうに
置ませう。つかつたあとには、またもとの
所へ置ませう。だうぐのせいとん
がよいと、仕事がよくはかどります。

三
机ふき

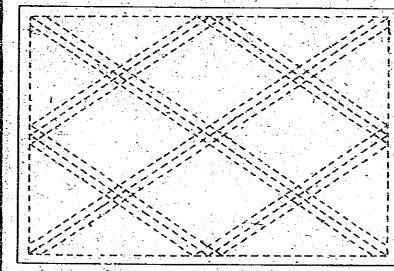
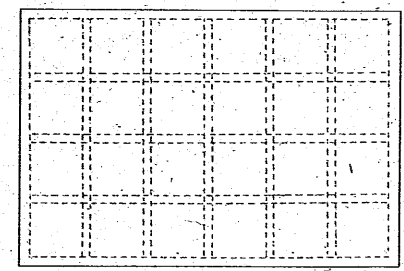
三
机ふき

一寸法

幅丈

二用布

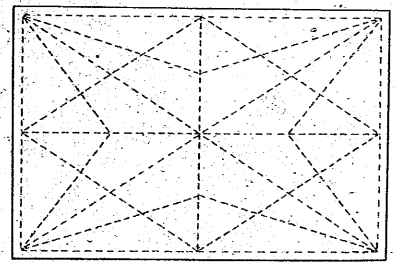
三ぬひ方



八

糸のつぎ方

重ねつき



ふきんぎふきんのかけ方
イぬらしたものでふく場合
口かわいたものでふく場合

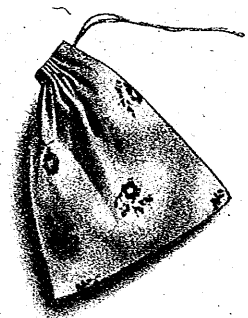
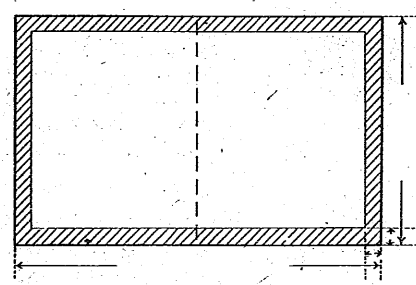
三
机ふき

九

四 糸くづ入れ

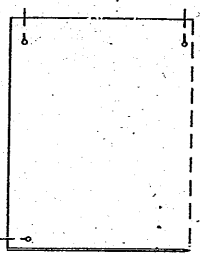
四 糸くづ入れ

一 ぬひしろのつけ方

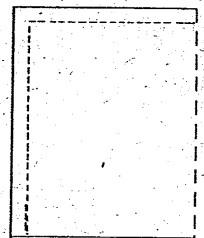


十

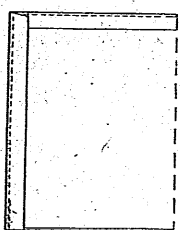
二 待針の打ち方



三 ぬひ方



四 きせのかけ方



返しどめ

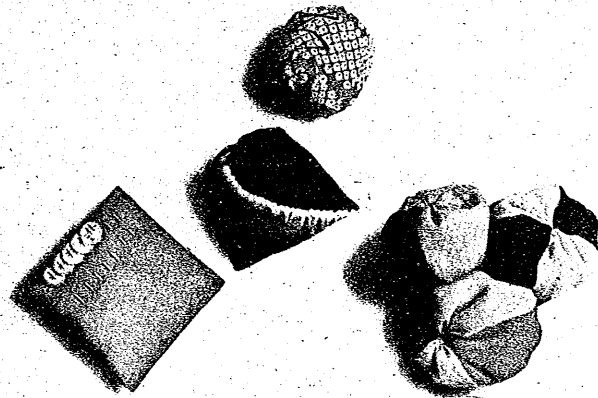
(始め)

(終り)

四 糸くづ入れ

十一

五 お手玉・針さし



針さしやお手玉は、糸くづ入れの作り方を、少し工夫するとできます。

一寸法

丈

幅

二用布

用布は、なるべく残りぎれをつかひなさい。

針さしやお手玉の中には、どんなものを入れますか。

六 せんたく

一 用意

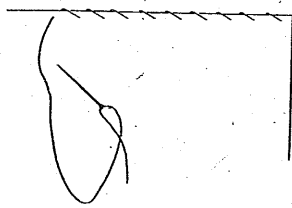
イ 身支度

ロ だうぐ

ハ 石けんなど

かがりぬひ

二 洗ひ方



イ 水にひたしておき、下洗ひする。

ロ きれをいためないやうに、石けん水な

どて、よごれを落す。

ハ よくすすぐ。

三 干し方

イ 卒をふいておく。

ロ しわをのばして、折りたたんでたたき

ひろげて干し、とばないやうにとめる。

四 あとしまつ

イ たらひを洗つて、水をきつておく。

ロ せんたく物がかわいたら、しわをのば

して、ただんでおく。

針やはきみは、さびないやうに、手入れを
しておきませう。

カラー資料

七、手さげ袋

七、手さげ袋



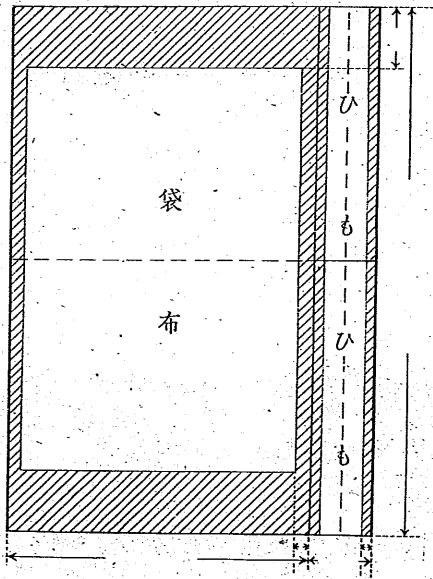
十六

一寸法

幅 丈

二用布

三たち方

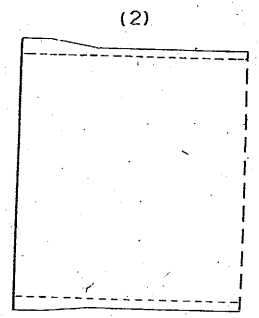
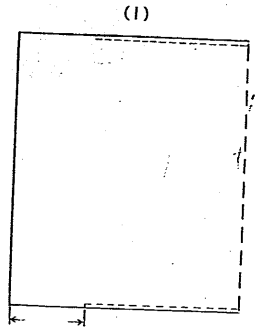


七、手さげ袋

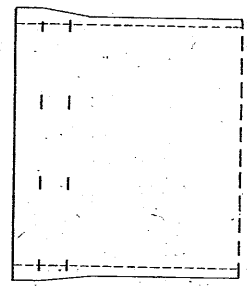
十七

四
ぬ
ひ
方
イ
わ
き
の
ぬ
ひ
方

袋
ぬ
ひ

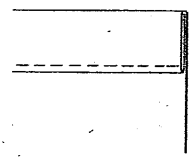
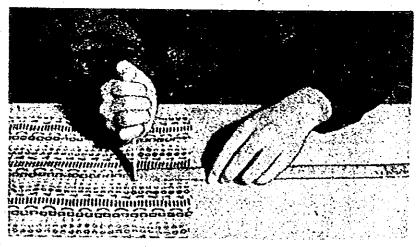


口
し
る
し
つ
け

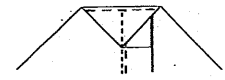
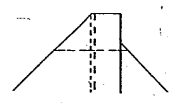


ハ
口
の
ぬ
ひ
方

三
つ
折
り
ぬ
ひ



ニ
ひ
も
ぬ
ひ
ホ
ひ
も
つ
け
へ
か
ど
の
し
ま
つ

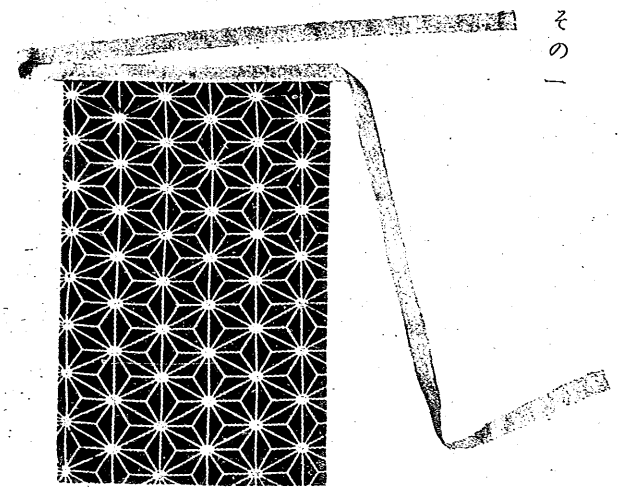


カラー資料

八
前
か
け

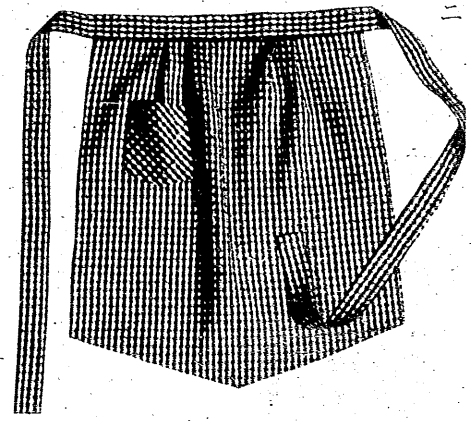
八
前
か
け

そ
の
一



二
十

そ
の
二



一
寸
法

丈

幅

ひ
も
丈

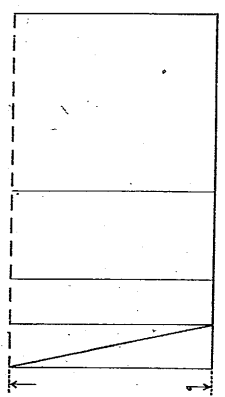
ひ
も
幅

二
用
布

八
前
か
け

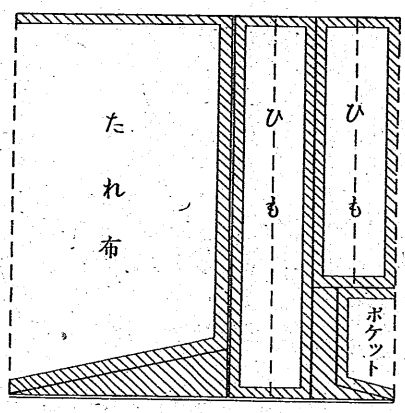
二
十
一

三かた紙のとり方



四たち方

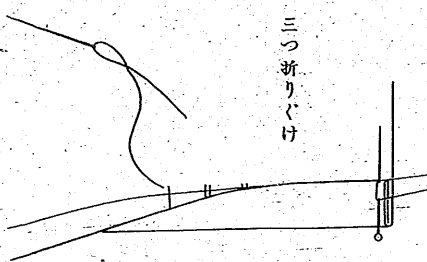
ぬひしろのつけ方



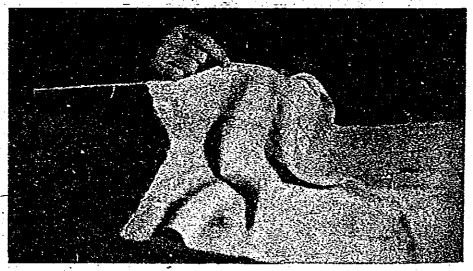
五ぬひ方

イまはりのしまつ

三つ折りぐけ

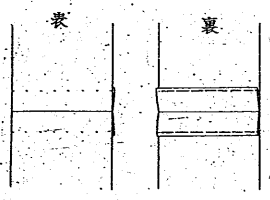


口ひもぬひ
きれのばぎ方



わりばぎ

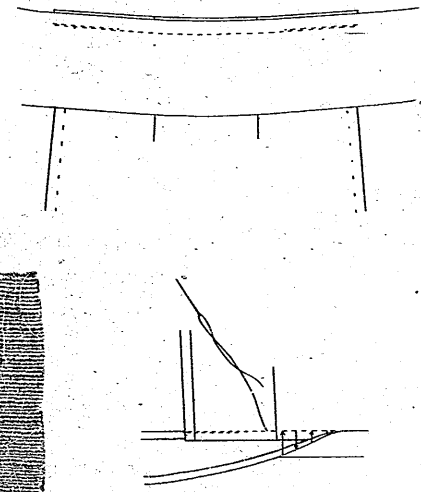
ハひだとり



カラー資料

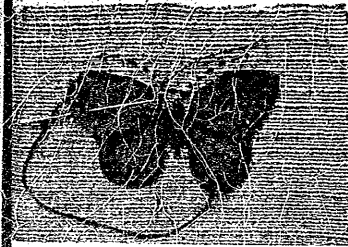
八 前かけ

ニ ひもつけ、ひもくけ



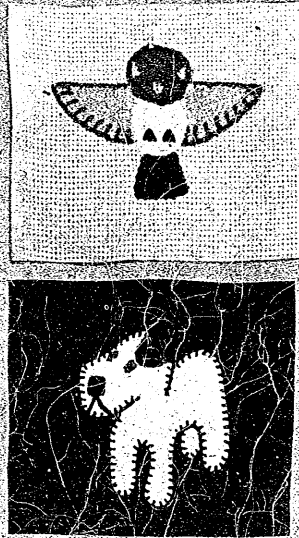
ホ ポケットつけ

かんたんなかざり
線ぬひと布おきししう



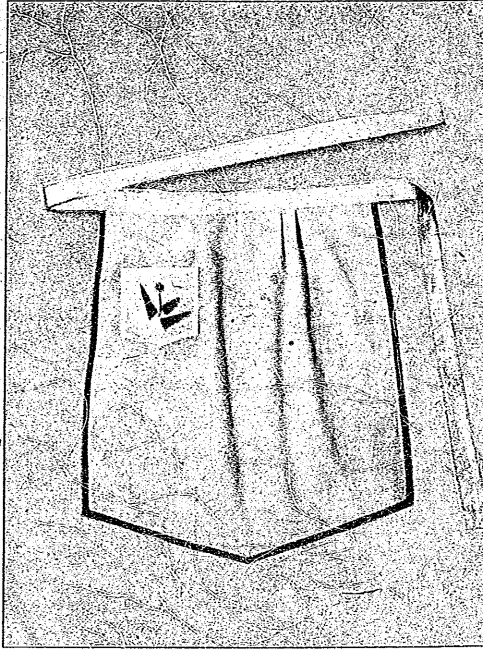
二十四

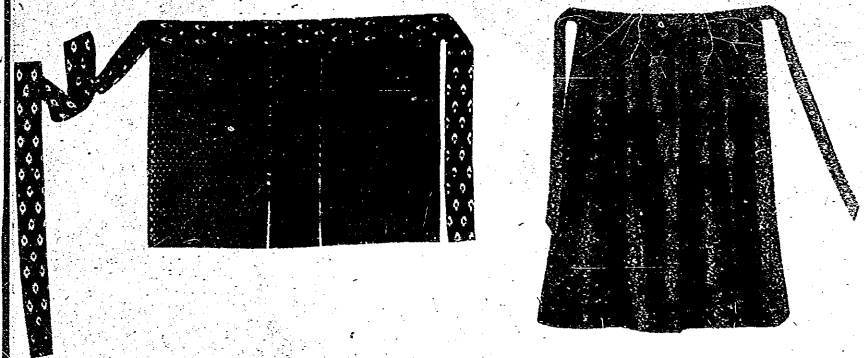
前かけのいろいろ



八 前かけ

二十五





丸 着物のしまつ

一 ぼこりのはらひ方

二 たたみ方

三 しまひ方

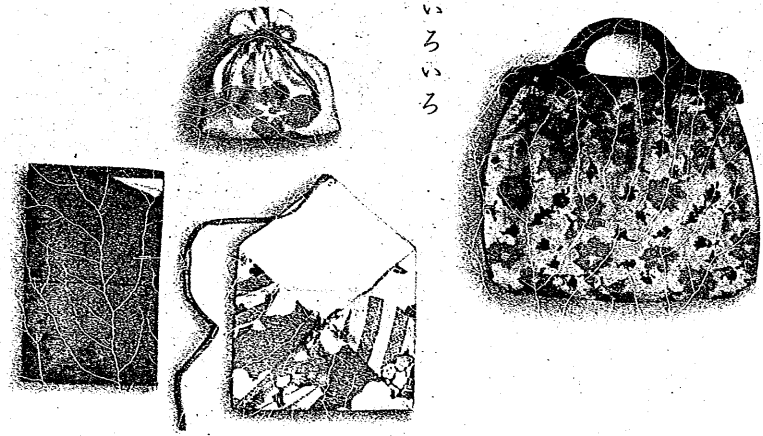
四 はく物のしまつ

カラー資料

十 袋・枕おほひなど

十 袋・枕おほひなど

袋のいろいろ



二十八

あもん袋

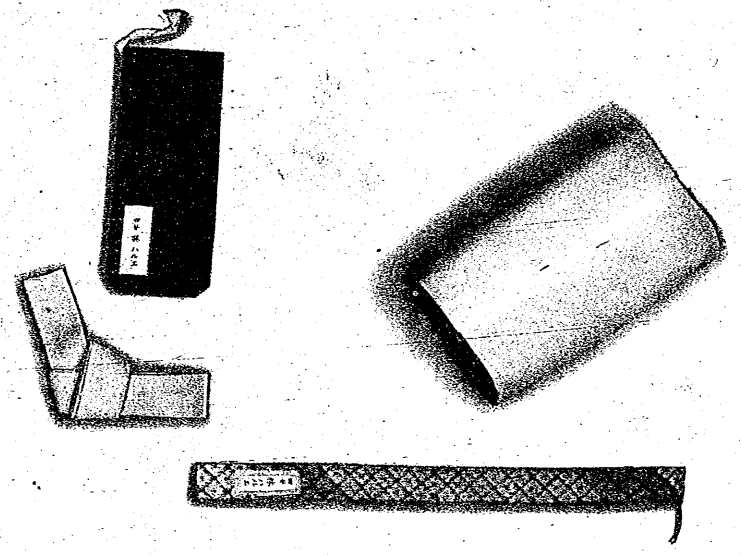


十 袋・枕おほひなど

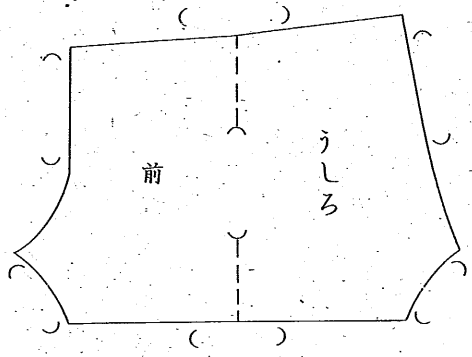
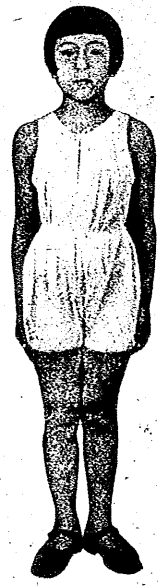
二十九

十一 袋状おほひなど

三十



十一 下ほろ

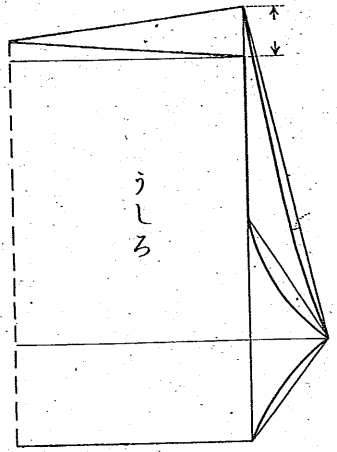
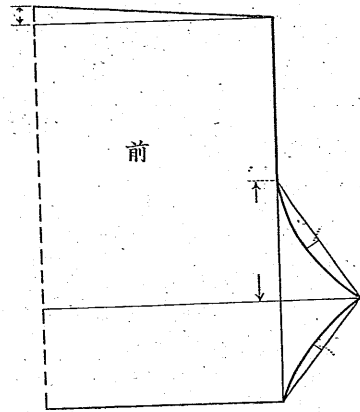
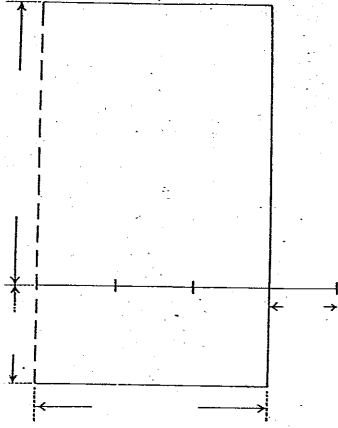


十一 下ほろ

三十

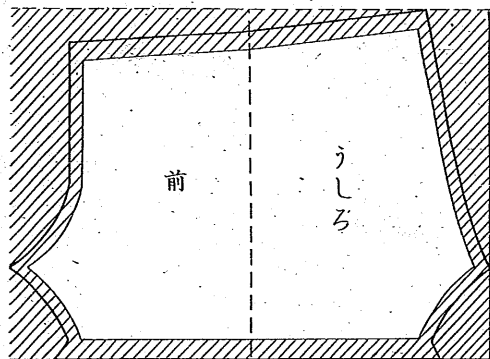
一用布

二かた紙のとり方



三たち方

ぬひしろのつけ方



ひも通し口

表

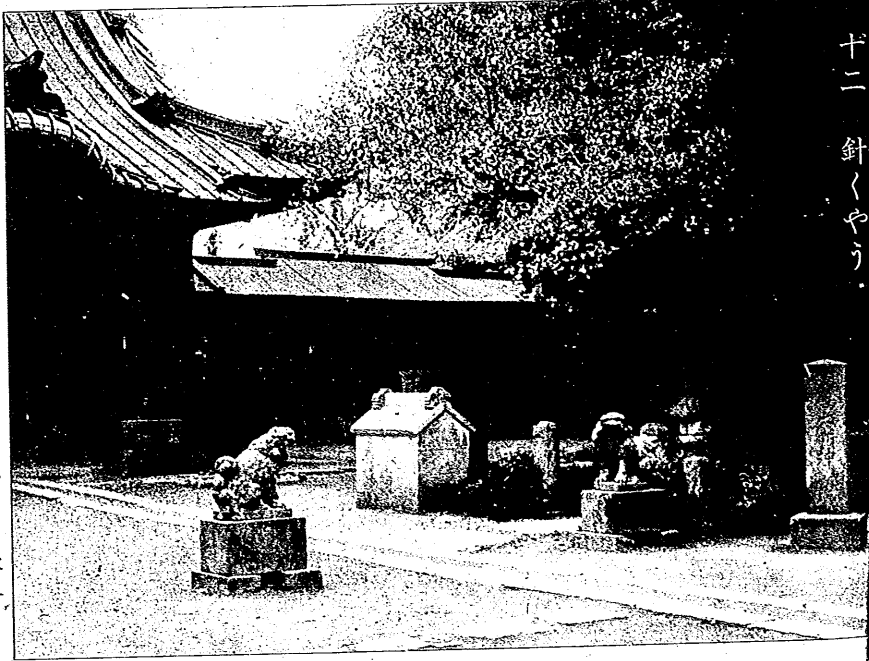
裏

四ぬひ方

またかみまた下は袋ぬひ。
 どうまはりすそ口は三つ
 折りぬひ。

十二 針くやう

おしぬし



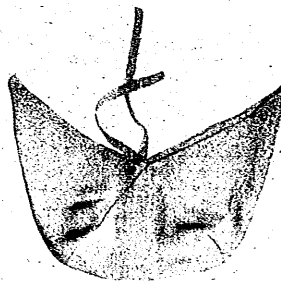
十二 針くやう

三十五

カラー資料

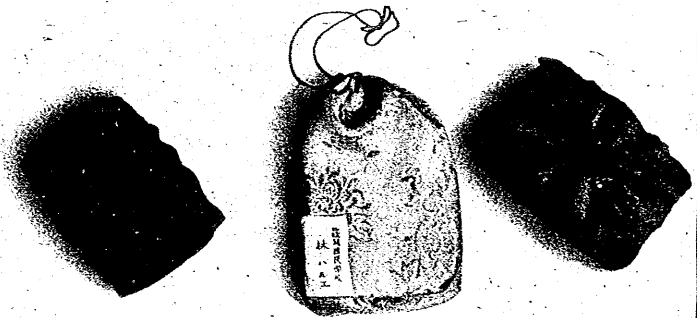
十三 べんたう包み

十三 べんたう包み



三十六

なるべく用布が少くてすみべんりて、
夫でその上形が美しいものを工夫してご
らんなさい。



十三 べんたう包み

三十七

K1305-1-1-1

100	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	100
	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	
90																	90
80																	80
70																	70
60																	60
50																	50
40																	40
30																	30
20																	20
10																	10

運しんきろく

運しんきろく

三十八

(右) 一分間にぬへた長さ
(左) 一分間にぬへた針目の数

昭和十七年二月十七日印刷
昭和十七年二月二十日發行 (非賣品)

著作權所有
發行兼 文 部 省

印刷者 杉山常次郎
東京市京橋區銀座一丁目五番地
大日本圖書株式會社

印刷所 共同印刷株式會社
東京市小石川區久堅町一〇八番地

